

時を超え、響き合う
ヴィオラ・ダ・ガンバの鬼才が誘う、音楽の旅

パオロ・パンドルフォ & アメリ・シュマン

—天上の歓び—

ヴィオラ・ダ・ガンバ200年の黄金の歴史～イギリス、フランス、ドイツ音楽史紀行～

Paolo Pandolfo

パオロ・パンドルフォ

(バス・ド・ヴィオール[ヴィオラ・ダ・ガンバ]*)

Amélie Chemin

アメリ・シュマン

(バス・ド・ヴィオール[ヴィオラ・ダ・ガンバ])**

Program

◆ イングランド：エリザベス1世からチャールズ1世へ—後期ルネサンス
トビアス・ヒューム (?-1645)：アルメイン—ガンバの魂
クリストファー・シンプソン (?-1669)：2つのヴィオールのためのディヴィジョン へ長調

◆ フランス：ルイ13世からルイ15世へ—洗練の極致
サント=コロンブ (?-1701?)：悲しみのトンボー
～鐘またはカリヨン～カロン(冥界の渡し守)の呼び声～嘆きの声～涙～エリクシオンの喜び
アントワヌ (?1672-1745)またはジャン=バティスト (?1699-1782)・フォルクレ：
『3つのヴィオールのための曲集』(リール市立文書館 MS135)より
「アルマンド」「サラバンド」「クーラント」(パオロ・パンドルフォ編曲)

◆ ドイツ：ケーテンからベルリンへ—バロックから古典派へ
ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750)：
プレリュードとフーガ BWV1011 / BWV995 (パオロ・パンドルフォ編曲)
クリストフ・シャフラー(1709-1763)：
2つのヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ

使用楽器

*17世紀ニコラ・ペルトラン製作のオリジナル楽器

**コリジョン製作楽器をモデルとするJ.クラフト製作の複製楽器

© Susanna Drescher

2026年 9月12日 [土] 14:00開演 (13:30開場) 三鷹市芸術文化センター風のホール 三鷹市上連雀6-12-14

チケット発売日 マークル会員2026年4月3日[金] / 一般4月7日[火]

料金(全席指定) マークル会員S席4,500円・A席3,600円 / 一般S席5,000円・A席4,000円

O-70 (70歳以上/A席限定) 3,600円 / U-23 (23歳以下/A席限定) 3,000円

*U-23ご利用の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いします。

*風のホールは2階席へのエレベーターがございません。階段でのご案内となります。

プレイガイド

● 三鷹市芸術文化センター *発売初日は以下の方法で午前10時から発売を開始し、窓口販売はございません。

・ 電話予約 チケットカウンター 0422-47-5122 [10:00-19:00/月曜休館・月曜が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館]

・ インターネット予約 <https://mitaka-art.jp/ticket> *事前登録(無料)が必要となります。*携帯電話からの場合、座席は自動採番です。

● イープラス <https://eplus.jp>

主催・お問い合わせ 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122

ヴィオラ・ダ・ガンバに宿る、圧倒的なエネルギー 静けさの奥にある、疾走する^{情熱}passioneを聴く

イタリアが誇るヴィオラ・ダ・ガンバの鬼才、パオロ・パンドルフォ。大胆さと繊細さを自在に行き交いながら、即興的なひらめきと深い歴史的洞察を結びつけるその演奏は、古楽の枠を超えた強い推進力を内に秘めています。巨匠ジョルディ・サヴァールのもとで研鑽を積みつつ独自の世界を切り拓き、数々の録音で国際的な評価を確立してきました。

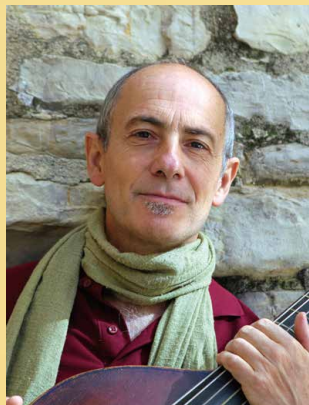
透明感のある音色と緻密なアンサンブルで知られるアメリカ・シュマンは、長年にわたりパンドルフォの薫陶を受けてきた存在です。多くの共演を通して培われた二人の音楽は、単なる調和にとどまらず、互いに呼应し、せめぎ合い、時に疾走するような緊張感を生み出します。二つのヴィオラ・ダ・ガンバが織りなす響きは、人の声のように親密でありながら、豊かなエ

ネルギーを帯びて聴き手に迫ります。

本公演では、二つのヴィオラ・ダ・ガンバによって、およそ200年にわたる音楽の旅が描かれます。エリザベス朝・ジャコビアン朝イングランドのトビアス・ヒュームには、舞踏や仮面劇の気配とともに、粗削りで力強い個性が息づきます。サント＝コロンブの《悲しみのトンボー》では、鐘の響きや嘆きの声が重なり合い、静けさの奥から濃密な感情が立ち上がります。さらにJ.S.バッハにおけるフランス風序曲の壮麗な様式を経て、ヴィオラ・ダ・ガンバの表現は一層の広がりを見せていきます。

静けさの中に息づく緊張と熱、そして音楽が前へと進み続ける力。親密な響きのなかで、豊かな音楽史と想像力が呼び覚まされるひとときを、どうぞご体感ください。

パオロ・パンドルフォ (ヴィオラ・ダ・ガンバ) Paolo Pandolfo, viola da gamba



1979年頃より、ヴァイオリニストのエンリコ・ガッティ、チェンバロ奏者のリナルド・アレッサンドリーニとともにルネサンスおよびバロック音楽の研究を始めた。その後、スイスのスコラ・カントルムにおいてジョルディ・サヴァールに師事。

1982年、サヴァールのアンサンブル“エスベリオンXX”メンバーとなり、1990年まで世界各地で共演を重ねたほか、J.S.バッハ《フーガの技法》、ダウランドのコンソート、ナポリのルネサンス音楽など、数十枚の録音に参加した。

1990年、ソリストとしての初録音 (C.P.E.バッハのヴィオラ・ソナタ) が大絶賛を浴び、その母校パーゼルのスコラ・カントルムのヴィオラ・ダ・ガンバ教授に就任した。教育活動に携わる一方、エマ・カークビー、ロルフ・リスレヴァン、リナルド・アレッサンドリーニ、ミッツィ・メイヤーソン、ホセ・ミゲル・モレノなど数多くのアーティストと共演し、世界各地で演奏活動を行ってきた。

世界各国のラジオ局やテレビ局への録音をおこなうほか、アストレ、EMI、フィリップス、エラート、ハルモニア・ムンディ、タクトゥス、シンフォニアなどのレーベルに録音を残している。1997年以降の録音はすべてスペインの大手GLOSSAからリリースされており、なかでも自身初の無伴奏作品《A Solo》は、グラモフォン誌1998年ベスト・リリースのひとつに選ばれた。

2000年にリリースされたJ.S.バッハの6つの無伴奏チェロ組曲の編曲集は大成功を収めただけでなく、音楽的にもきわめて重要なものとして受け入れられ、この組曲のあらゆる録音のうちでも「必聴」の一つとみなされている。リリースした録音はすべてグラモフォン、ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック、ゴールドベルク、スケルツォ、ディアバソンなど最も重要な音楽雑誌から多くの賞を受賞し、アーベルのCD、《The Drexel Manuscript》は、2010年BBCミュージック・マガジン誌の器楽部門で年間最優秀CDにノミネートされた。

世界各地で演奏会やマスタークラスに招かれており、「ヴィオラ・ダ・ガンバのパガニーニ」とも評されている。パオロ・パンドルフォは、バロックやルネサンス音楽を、即興、編曲、現代音楽などの手法も用いながら演奏することで、西洋音楽の過去と現在の架け橋となっているのみならず、古い音楽遺産が西洋音楽の未来に力強いインスピレーションを与えられると確信している。

アメリカ・シュマン (ヴィオラ・ダ・ガンバ) Amélie Chemin, viola da gamba



1980年フランス生まれ。カーンおよびリヨンにてチェロと室内楽を学び、優秀な成績で修了する。

ヴィオラ・ダ・ガンバおよび古楽への深い関心から、エマニュエル・ギーグ、ジョルディ・サヴァール、ヴィットリオ・ギエルミらのマスタークラスや講習に参加。2003年にパーゼルへ移住し、スコラ・カントルムにてパオロ・パンドルフォ、ペトル・スカルカ、ランドール・クックのもと、ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロック・チェロ、フィドルを学ぶ。2008年、ヴィオラ・ダ・ガンバのディプロマを取得。

ルネサンスおよびバロック時代のトレブルからバスまで、さまざまなヴィオラ・ダ・ガンバを演奏するほか、バロック・チェロ奏者としても活動。2003年以降、ウィリアム・クリスティ、トン・コープマン、ジョルディ・サヴァール、アンドレア・マルコン、パオロ・パンドルフォ、ジョシュア・リフキン、ブルース・ディッキー、アンソニー・ルーリーらと数多くのプロジェクトに参加している。

ラ・チェトラ・バロック管弦楽団 (パーゼル) のメンバーであり、低音アンサンブル「イル・プロフォンド (Il Profondo)」の共同創設者でもある。演奏活動はフランス、スペイン、ドイツ、イギリス、イタリア、スイス、ウクライナ、トルコに及ぶ。

2009年9月より、フランス・レンヌ音楽院にてヴィオラ・ダ・ガンバおよびバロック・チェロの指導にあたっている。

X @MusicMitaka (公財) 三鷹市スポーツと文化財団・音楽部門の公式X (旧Twitter) です。ぜひこの機会に「フォロー」をお願いします!

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。

口座番号：(ゆうちょ銀行) 00190-5-569156
加入者名：三鷹市芸術文化センター

*「払込取扱票」の通信欄に(予約番号)をご記入ください。

*普通郵便の場合110円、簡易書留ご希望の場合460円を加算してお振込みください。
*振込手数料はお客様のご負担になります。
*お振込み後、10日程度でチケットをお届けします。

託児あり 本公演には託児サービスがございます。
対象：公演当日1歳～未就学児 定員：10人 (要予約)
料金：お客様一人につき500円 (当日払い)
お申込み：2026年8月29日(土)まで、お電話または、右の二次元コードからお申し込みください。
株式会社 明日香 Tel: 0120-165-115
(電話受付：月曜日～金曜日 9:00～17:00)
▲予約フォーム

財団友の会「マークル」会員募集中!!
一般発売日より前に
会員先行予約があります。 **MARCL**
*年会費2,000円
*チケットの優先予約・割引(1公演2枚まで)、ポイントの還元(ご利用額の5%)情報誌の送付、チケットの無料送付(口座会員のみ)。

三鷹市芸術文化センター
181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
Tel: 0422-47-5122
JR三鷹駅南口2番バス乗り場から「八幡前・芸術文化センター前」下車すぐ。
または5・6・7番乗り場から「八幡前」下車1分。または徒歩約15分。

*公演の内容等は、やむを得ず変更となる場合がございます。*公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払戻し、交換はできませんので、何卒ご了承ください。*チケットの転売は、いかなる場合にも固くお断りします。
*未就学のお子様は入場できません。また、危険防止のため、小学生のお子様は、2階正面席最前列はご遠慮ください。*2階席へのエレベーターはございません。階段をご利用ください。*お車での来館はご遠慮願います。